

衆議院予算委員会公聴会ニュース

平成 29. 2. 21 第 193 回国会第 1 号

2 月 21 日（火）、第 1 回の公聴会が開かれました。

1 平成 29 年度一般会計予算

平成 29 年度特別会計予算

平成 29 年度政府関係機関予算

- ・公述人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（公述人）

（午前）株式会社大和総研執行役員

調査本部副本部長チーフエコノミスト

熊谷亮丸君

特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンター

人道支援／平和構築グループマネージャー

今井高樹君

東京大学大学総合教育研究センター教授

小林雅之君

嘉悦大学教授

高橋洋一君

（午後）BNPパリバ証券株式会社投資調査本部長

中空麻奈君

日本労働組合総連合会事務局長

逢見直人君

昭和電気鋳鋼株式会社代表取締役社長

手塚加津子君

全国労働組合総連合議長

小田川義和君

（質疑者及び主な質疑内容）

（午前）

門 博文君（自民）

- ・米国のトランプ新政権の保護主義・保護貿易への政策転換に対し、我が国がとるべき政策の方向性について、熊谷公述人に伺いたい。
- ・教育・研究への投資を含め財政政策を積極的に展開すべきだと考えるが、高橋公述人の見解を伺いたい。
- ・家庭の所得格差と大学進学前段階の子供の教育との関係について、小林公述人に伺いたい。

富田茂之君（公明）

- ・給付型奨学金及び所得連動返還型奨学金の制度設計に対する小林公述人の評価を伺いたい。
- ・教育国債を発行するためには財政法第 4 条の規定を乗り越える必要があるが、そのための具体的方策について高橋公述人に伺いたい。
- ・教育費等の支援の在り方について、熊谷公述人の所見を伺いたい。

緒方林太郎君（民進）

- ・南スーダンの現地情勢について、今井公述人の認識を伺いたい。

- ・南スーダン政府と国連南スーダン共和国ミッション（UNMISS）との関係及び両者の間に戦闘が生ずる可能性について、今井公述人に伺いたい。
- ・南スーダンにおいて、いかなる状態が生ずれば和平が訪れたと言えるのか、今井公述人に伺いたい。

宮本 徹君（共産）

- ・返還免除制度の縮小等の奨学金制度の見直しにより給付型奨学金の財源を捻出していることについて、小林公述人の見解を伺いたい。
- ・南スーダンに対する武器禁輸の意味について、今井公述人に伺いたい。
- ・円安が個人消費に与える影響について、熊谷公述人に伺いたい。

伊東信久君（維新）

- ・教育国債について、高橋公述人の所見を伺いたい。
- ・教育無償化の実現に向けた憲法改正の必要性について、高橋公述人及び熊谷公述人の所見を伺いたい。
- ・教育無償化の財源を確保するためにはまずは行財政改革を行うことが必要であると考えているが、公務員人件費削減についての高橋公述人の所見を伺いたい。

(午後)

小 倉 將 信君 (自民)

- ・コーポレートガバナンス改革を含む安倍政権の様々な成長戦略に対する中空公述人の評価を伺いたい。
- ・年金積立金管理運用独立行政法人 (G P I F) の現在の基本ポートフォリオに対する中空公述人の評価を伺いたい。
- ・女性の経営者が少ない現状を改めるためには、今後どのような支援を行うべきか、手塚公述人の見解を伺いたい。

伊 藤 渉君 (公明)

- ・人口減少が進む中で、特に中小企業・小規模事業者の生産性向上のために何をしていくべきか、各公述人に伺いたい。
- ・働き方改革が議論される中で、中小企業・小規模事業者における人手不足を解消する方策について、逢見公述人及び手塚公述人に伺いたい。

井 坂 信 彦君 (民進)

- ・裁量労働制の拡大と高度プロフェッショナル制度について、逢見公述人の見解を伺いたい。
- ・年金積立金管理運用独立行政法人 (G P I F) がオルタ

ナティブ運用をすることについて、逢見公述人の見解を伺いたい。

- ・経済成長の推計を行う独立機関を創設する必要性について、中空公述人の見解を伺いたい。

畠 山 和 也君 (共産)

- ・現在の我が国の労働環境は、国際基準と比較してどのような状況にあると考えているのか、小田川公述人の認識を伺いたい。
- ・現場の勤務実態を踏まえてインターバル規制を設ける意義や必要性について、逢見公述人及び小田川公述人に伺いたい。
- ・中小企業における元請け企業との納期交渉の実情と賃上げ原資の確保策について、手塚公述人に伺いたい。

浦 野 靖 人君 (維新)

- ・大学までの教育無償化について各公述人の見解を伺いたい。
- ・財政再建の必要性について専門家の間でも意見が分かれているが、中空公述人の見解を伺いたい。
- ・子育て世代支援の取組に当たり、待機児童の解消と保育士の処遇改善のどちらを優先すべきか、逢見公述人の見解を伺いたい。